

ひだか 議会だより

HIDAKA GIKAI DAYORI

第188号
令和4年10月31日



ふくしふれあい運動会で紅白に分かれて楽しく競技

行政報告	2～3P
令和3年度歳入歳出決算の認定	4P
審議したこと・決まったこと・請願・陳情	5～6P
委員会活動	7～9P
一般質問に8氏が立つ	10～17P
*特集 各種団体に聞きました	18P
議会日誌	19P
編集後記	20P

行政報告(要旨)



戸梶眞幸村長

マイナンバー カード交付状況

交付状況は、7月末時点での申請数2千285件、申請率45・9%となっている。また、申請者に対して実際に交付したマイナンバーカードは1千974件、その交付率は39・6%となっている。

マイナポイント の取り組み

マイナポイント第2弾の取り組み状況は、「健康保険証としての利用申し込み」、「公金受取口座の登録」について、7月第1及び最終日曜日の2回の休日受付を行った。今後も毎月1回、原則最終日曜日に実施する。また下分ふれあいプラザでの出張受付及び交付を試験的に実施の準備中である。

コンビニ収納

4月1日から7月31日までの現年度課税分の納付状況は、金融機関や役場などでの納付数が令和3年度1万1千114件に対し、令和4年度は7千921件と3千193件減少している。コンビニ収納等による令和4年度の収納件数は、コンビニ3千240件、電子決済136件、合計3千376件となっている。

オムライス街道 キックオフ

毎年6月12日に実施しているキックオフイベントは、村の駅ひだかの駐車場を特設会場として、ステーション、観光列車のおもてなし、物販コーナーによる来場者参加型イベントを開催した。

観光列車おもてなし

連携した村の駅ひだかの1日の売り上げは100万円を超え、6月の売り上げとしては最高額となるなど、多くの来場があり、盛会のもと第9弾をスタートした。

観光列車のおもてなしは、毎週末、日高村おもてなし楽会の皆さんを中心に実施している。

鉄道・交通業界に関する新聞「交通新聞」に3回にわたって紹介された。7月には東洋経済オンラインの記事のなかでは「ドアが

開かない列車への窓越しのおもてなしは日本でも他に例がなく、今後日本一の取り組みとして注目されるのではないか」といった評価を得た。



マイナンバーカード休日申請・交付の窓口を最終日曜日に開設



オムライス街道キックオフイベントでの観光列車おもてなし

日下駅舎の 耐震・改修

日下駅舎を今年10月をめぐりに、JR四国から譲り受ける方向で現在調整している。

譲り受け後は、村の玄関口として、駅利用者の利便性の向上を図り、地域の活性化に資するための施設として村が管理し、来年度に耐震と改修工事を行う方向で検討している。

日高村地球温暖化 対策実行計画

高知県地球温暖化防止活動推進センターを運営している「NPO法人環境の杜こうち」と日高村地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定支援に係る業務委託契約を4月18日付で締結した。

11月中旬に策定委員会を開催し、商工会と連携して、企業や事業者を対象としたセミナーや意見交換会を実施し、年度内の計画策定を見込んでいる。



JR四国から譲り受け、改修する日下駅舎

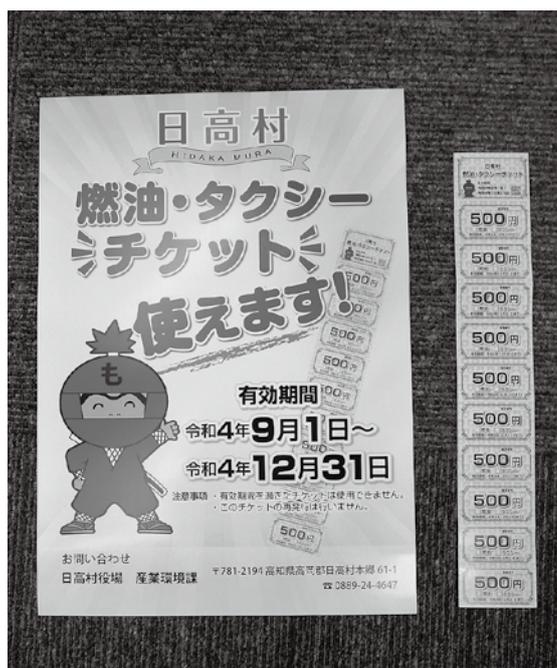
農業資材の高騰対策

昨今の肥料等の農業資材の高騰を受け、農業収入50万円以上の農業者に対し、令和4年4月1日から12月31日までに購入した肥料、農薬、種苗の購入額の20%を助成する補助事業について、9月1日から申請の受け付けを行っている。

燃油の高騰対策

燃油高騰対策について、燃油・タクシーチケットの配布を令和4年6月30日現在で、住民基本台帳に登録の村民4千880人に一律5千円分のチケットを配布する。

有効期間9月1日から12月31日まで、利用可能事業所は、村内のガソリンスタンド6カ所、村内のタクシー事業所1カ所、いの町のタクシー事業所2カ所、村内といの町の介護タクシー事業所各1カ所で利用できる。



村民に配布した灯油・タクシーチケット
有効期間は12月31日

日高村浸水予想区域 災害危険区域説明会

「日高村浸水予想区域および災害危険区域」に指定予定の土地所有者に対し、説明会を6月13日から24日に計9回開催をした。

662人の対象者のうち、会議への参加者49人、事前問い合わせ24人、合計73人に説明した。

説明会では、農地のかさ上げや私権を制限することや新しい放水路工事の内容などに対して、意見が出され、国土交通省高知河川国道事務所とともに、丁寧に説明をさせていただいた。また、説明会に不参加の土地所有者には、概要をまとめた資料を作成し、郵便にて再度周知した。建築・不動産関係者への説明会を9月21日に開催し、令和5年1月1日の条例施行に向けて、準備を進めていく。

令和3年度決算認定

〔一般会計
特別会計〕

一般会計・特別会計合わせて

歳出決算総額

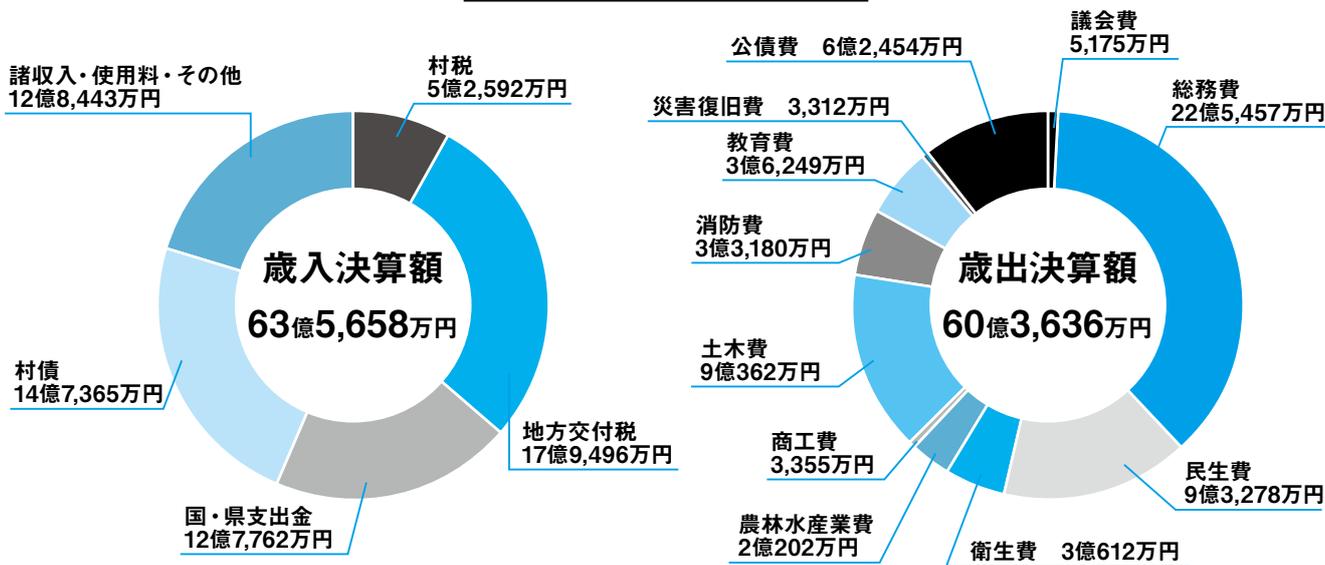
77億円



7月25日から8月5日まで決算監査を実施

歳入歳出決算の認定

一般会計決算額



特別会計決算額

千円

特別会計	歳入	歳出
住宅新築資金等特別会計	3,171	2,175
国民健康保険特別会計	730,984	728,503
簡易水道特別会計	194,022	182,078
介護保険特別会計	716,618	699,455
後期高齢者医療特別会計	94,418	91,916
合計	1,739,213	1,704,127

審議したこと

令和4年第3回定例会

決まったこと

R4.9.2~9.8

9月議会では、認定1件、条例関係4件、予算関係6件、その他2件の計13件の議案等が決まった。

第3回定例会議案・発議案と賛否

○：賛成 ●：反対

議案	議員名	西村玲子	大川内慎治	山中鶴幸	藤原利彦	森下芳文	横山泰昌	野村重夫	森下雅文	池田雄	尾崎政廣	議決結果
令和3年度日高村歳入歳出決算認定について 一般会計・住宅新築資金等特別会計・国民健康保険特別会計・簡易水道特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計		○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	議長	可決
日高辺地の総合整備計画の策定について 日下辺地と能津辺地を統合した日高辺地を新設し、令和4年度から令和8年度までの5カ年計画を策定するもの。		○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	議長	可決
日下駅舎の設置及び管理に関する条例の制定について JR四国より10月1日付で所有権を譲り受け、村の施設として設置及び管理するための条例を制定するもの。施行期日は令和4年10月1日。		○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	議長	可決
日高村立東部児童館設置条例の廃止について 東部児童館は老朽化が進み危険構造物となり、また児童館業務を終了した以降は使用していないため、条例を廃止するもの。施行期日は公布の日。		○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	議長	可決
日高村課設置条例の一部を改正する条例 日高村立東部児童館設置条例の廃止に伴い、健康福祉課の分掌事務から児童館に関するものを削除するもの。施行期日は公布の日。		○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	議長	可決
日高村非常勤の特別職の職員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 日高村立東部児童館設置条例の廃止に伴い、報酬と旅費を定めた別表から児童館運営審議会を削除するもの。施行期日は公布の日。		○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	議長	可決
令和4年度日高村一般会計補正予算（第4号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億7,085万4千円を追加するもの。 主なものは、ふるさと納税関連事業・緊急自然災害防止対策事業・錦山公園整備事業。		○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	議長	可決
令和4年度日高村国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ268万4千円を追加するもの。		○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	議長	可決
令和4年度日高村簡易水道特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ349万6千円を追加するもの。		○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	議長	可決
令和4年度日高村住宅新築資金等特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出予算の総額からそれぞれ21万1千円を減額するもの。		○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	議長	可決
令和4年度日高村介護保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,746万7千円を追加するもの。		○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	議長	可決
令和4年度日高村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出予算の総額にそれぞれ266万7千円を追加するもの。		○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	議長	可決
高知県広域食肉センター事務組合規約の変更について 現規約は解散を想定してなく、今後の解散に向け規定を追加するもの。		○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	議長	可決

審議したこと

決まったこと

第3回定例会

選挙

選挙管理委員並びに選挙管理委員補充員を決定した。

選挙管理委員

任期 令和4年9月30日
～令和8年9月29日

長尾 伸一氏
(日高村本郷)

森下 順子氏
(日高村下分)

松本 敏一氏
(日高村本郷)

矢野 博章氏
(日高村沖名)

選挙管理委員補充員

任期 令和4年9月30日
～令和8年9月29日

1番 濱田 保之氏
(日高村下分)

2番 井上 佐恵子氏
(日高村沖名)

3番 矢野 靖氏
(日高村本郷)

4番 黒岩 強志氏
(日高村下分)

報告

◎令和3年度健全化判断比率の報告について

◎令和3年度資金不足比率の報告について

◎株村の駅ひだかの経営状況について

予算

◎令和4年度日高村一般会計補正予算(第4号)

質疑

問 日下駅改修工事設計額

が少ないが、トイレは入っているか。

答 現在、外にあるトイレを駅舎の中に入れた設計にする。

問 日下駅の活用の概要

は。

答 設計の段階から検討委員会を立ち上げ、ご意見をいただく。

村は、駅舎の中で交流ができるスペース等を確保したいと考えている。

問 日下駅舎は、長年村民

に親しまれた施設で、特に外観が変わると、あまり望ましくないと思う。

答 極力外観は変えないように、内装の改修をする。

問 ふるさと納税寄付金が

増えているが、使い道は。

答 携帯電話の不感地域解消事業、ふるさと納税寄付額に対する事務費、ふるさと納税基金に積み立てる。翌年度、どう使うか検討していきたい。

決まったこと 請願・陳情

◎「国に対し、「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」の提出を求める陳情書

提出者

日本国民救援会高知県

本部

会長 兼松利彦

採決 趣旨採択

第4回臨時会

7月22日第4回臨時会が開催され、議案1件が可決された。

◎令和4年度日高村一般会計補正予算(第3号)

質疑

問 農業資材高騰対策補助

金は、肥料・資料・農薬の3つに限られるのか。答 その3点に限る。

問 トマトハウス用の井戸ポンプの修繕は、年数経過してないが、どういうトラブルか。

答 ポンプの故障と水を作動するセンサーが誤作動で故障した。

問 健康アプリ開発の説明

会でも要望したが、村民の努力に込める開発を期待し、年内の開発は可能か。

答 9月期に意見等を集約し、10月より12月中旬までにアプリの仕様を取りまとめ及び開発を実施したい。

12月中旬から令和5年1月初旬にアプリのテスト、リリース準備を行い、1月中旬に健康アプリの公開にまでこぎ着けたい。

第5回臨時会

8月18日第5回臨時会が開催され、議案1件が可決された。



閉会中の委員会活動報告

総務常任委員会



委員長 藤原利彦

8月24日(水) 午前10時より

森下教育次長より

7月24日に日高村立図書館ほしのおかで、6周年祭りを開催した。ピアノとチェロのミニコンサート、児童による日下駅の大イチョウの朗読、うちわづくりと3部門に分けて開催した。

7月より図書館のエントランスにビジネス支援として、ハローワークいのかから週1回で求人情報の掲示を始めた。

松岡総務課長より

6月22日公示で参議院議員選挙が行われた。

職員採用は、採用人数若干名で一般事務職を募集している。今回は4月採用のみでなく、途中採用(11月採用)の社会経験者も考え、採用試験を実施する。任期満了となる選挙管理委員及び補充員の選挙をお願いしたい。

谷脇総務課参事より

7月17日、日高村自主防災組織連絡協議会を福祉センターで開催した。総会後、山中千枝子先生の講演、(株)フタガミから資機材の説明を受けた。

11月6日に日高村総合防災訓練を保健センターで、沖名地区を対象に計画している。

山崎企画課長より

6月19日と26日に、東京と大阪で移住関係の暮らしフェアと合わせて就職、転職フェアが開催され職員を派遣した。

DAISプロジェクト

は、日高村からの提供課題である、ミライエを中心とした能津地区の賑わいの創出、ミライエの収益向上を実現するために4件の提案をいただき、中から釜めし製作販売が選ばれた。

今井住民課長より

マイナンバーカードの交付実績、コンビニ収納の説明があった。

知事と県内の市町村長との合意形成がなされ、令和12年度に向けて、国保の保険料の統一化の協議が進められることとなっている。

経済建設厚生

常任委員会



委員長 大川内慎治

8月26日(金) 午後1時30分より

松本健康福祉課長より

総合健診の受診者数は、特定健診331人、後期高齢者健診209人。

各種がん検診では、肺がん検診702人、胃がん検診425人、大腸がん検診615人、前立腺がん検診189人、子宮頸がん検診116人、乳がん検診136人。

3歳児健診は10人、乳児健診は15人、1歳6カ月健診は3人、2歳児健診は1人の受診であった。

各健診において、新型コロナウイルス感染症の影響による受診率の低下が見られた。

新型コロナウイルスの日高村での接種率は7月31日時点で、1回目83.9%、2回目83.1%、3回目72.8%、4回目19.3%であった。

藤岡産業環境課長より

農業資材高騰対策補助金については、9月1日より申請を受け付け、9月広報誌とホームページでの周知を図る説明があった。



ハローワークいのかから求人情報を掲示する図書館「ほしのおか」のエントランス

前田建設課長より

日下川新規放水路斜坑口を活用した「インフラツーリズム」は、日高村観光協会が主になり協議会を進めている。

竜石地区の浸水想定区域内における民間業者による宅地開発は、条例基準をクリアできるよう協議を行っていたが、対策に対する費用負担が大きくなり、床高規制はクリアできるが、その他については、十分な対策ができないとの結論となった。

流域治水の推進とまちづくりの両輪を進める上での課題が明確になったことから、知事に対して「流域貯留浸透事業などの制度化及び拡充」について提言を行った。

要望書を提出

竜石地区の浸水想定区域内における宅地開発に対し、不足する対策を少しでも上積みする努力をし、課題を将来に先送りすることのない、慎重な対応を求める要望書を委員会として9月2日付で村へ提出した。

日高村振興対策
特別委員会



委員長 池田 雄

8月26日(金) 午後3時
より

山崎企画課長より

一般社団法人能津未来閣連として、能津未来の収支状況の説明があり、月別売上高の約70%は飲食部門(ばあば会)が占めること、錦山満天星キャンプ場管理運営業務に関して(二社)能津未来と契約を締結したこと、能津給油所関連として、8月10日に仁淀川清流ステーション及び能津マートがオープンしたこと、携帯電話不感地域解消事業(電波塔建設)は柱谷地区一帯の電波状況を改善する

もので、福祉、防災、救急の観点からも不感解消は必要との説明があった。

前田建設課長より

県道庄田伊野線の柱谷地区バイパス工区に関して、仁淀川本流が上昇し、柱谷地区が滞水した場合、避難できなくなることから県道の嵩上

げを要望していること、能津地区地域優良賃貸住宅について、現在整地工事が進み、周辺の竹木の伐採も進行していること、入居者募集について関係者と詳細協議中、能津夢団地の払い下げについて、県の住宅課と協議し、特別な事情の整理中、との報告を受けた。

日高村治水対策
特別委員会



委員長 森下雅文

8月25日(木) 午前10時
より

西村治水対策室長より

1. 5月25日、第55回四国治水期成同盟連合会通常総会以降の20件の取り組みの報告を受けた。
2. 馬越南地区での止水パネル設置について、沖名消防分団との協議の報告を受けた。
3. 床上浸水対策特別緊急事業の、国の放水路工事・導水路工事、県の河川改修と残土処分場の状況について報告を受けた。

残土処理に関する県との話し合いの結果については、次回の委員会で報告したいとのことであった。



仁淀川清流ステーション及び能津マートのオープン式典

委員からは、浸水予想区域であり、地盤対策や水道の敷設・道路認定の件も含め、慎重に対応するようにとする、強い意見がされた。

5. 竜石地区の開発について報告を受けた。
民間事業者による宅地開発で、レストラン高知の西から南へ6千723㎡のうち、宅地造成が5千347㎡で、約19区画の開発を行うもの。

4. 県の大規模特定河川事業、県単独河川改修と、村の緊急自然災害防止対策事業について報告を受けた。



新規放水路呑口を治水対策特別委員会が現地視察



委員長 池田 雄

**日高村議会改革
特別委員会**

7月22日(金) 午前10時40分より

今回の協議は「議会の情報発信」である。新庁舎の現在の機材を活用してでき

る、本会議の情報発信にどのように取り組んでいくか、ということに関して、あらかじめ企画課に依頼をし、説明を受けた。
企画課からは、
①収録データを編集して後日ユーチューブにて公開する。
②議会当日にユーチューブの議会チャンネルにて生配信(放送)を行う。
③配信を専門の業者に依頼して生配信(放送)を行うという提案を受けた。
それぞれの提案について費用等の具体的な説明があった。現在、村が利用しているIP告知端末の使用期限がせまっているということで、新たな機材のデモンストレーションが8月に予定されていることを受け、村の方針が決定した後で、再度議論をするという結論に至った。

第4回臨時会議案と賛否

○：賛成 ●：反対

議案	西村玲子	大川内慎治	山中鶴幸	藤原利彦	森下芳文	横山泰昌	野村重夫	森下雅文	池田雄	尾崎政廣	議決結果
令和4年度日高村一般会計補正予算(第3号) 歳入歳出予算の総額にそれぞれ7,428万7千円を追加するもの。 主なものは、住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金・健康アプリ開発委託料・燃油高騰対策補助金・農業資材高騰対策補助金	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	議長	可決

第5回臨時会議案と賛否

○：賛成 ●：反対

議案	西村玲子	大川内慎治	山中鶴幸	藤原利彦	森下芳文	横山泰昌	野村重夫	森下雅文	池田雄	尾崎政廣	議決結果
日高村役場新庁舎耐震性貯水槽設置工事の請負契約(第3回変更)の締結について 鋼矢板設置等の一部作業を旧庁舎解体工事で施工したことで請負工事費が減額となり契約を変更するもの。変更後：契約金額 5,841万円	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	議長	可決

一般質問に8氏が立つ



大川内慎治議員

日高村移住促進プロジェクトについて

質問 空き家確保の取り組みについて。

答弁 山崎企画課長 年間3件程度の空き家改修整備に取り組んでいるが、移住者受け入れのために、まだまだ不足している。引き続き、空き家の所有者に対して施策事業へのご理解ご協力を求めている。

質問 村内での宅地開発・賃貸住宅建設の推進について。

答弁 藤田副村長 建築や不動産関係者に対し、機会を捉えて、新



引き続き活用が望まれるトマト研修棟ハウス(2人の地域おこし協力隊が就農に向け奮闘中)

規放水路や河川改修により、平成26年規模の被害では浸水しないエリアの情報や村内での宅地開発の検討をお願いする。

活力と交流を生み出す産業づくり

質問 村の誇るトマト産業を守り発展させていくため、どのように取り組んでいく考えであるか。

答弁 藤岡産業環境課長 シュガートマトは、ストレス低減やリラックス効果があるギャバの数値が、普通のトマトの倍以上あるとの結果が出ている。今後その付加価値を、どう販売力強化につなげていけるか、生産者や関係機

関等と協議していく。ハウス内の環境データを活用した出荷予測の実用化に向け、生産者・JA等と連携し取り組んでいく。

質問 地域おこし協力隊(農業研修生)の研修体制の拡充を。

答弁 藤岡産業環境課長(株)コスモスアグリサポートの研修棟ハウスでは、今作は研修が可能だが、次作については決まっていない。企画課・産業環境課(株)コスモスアグリサポート等で今後の研修について継続できるような協議を行っていく。

JRR日下駅の再生活用プロジェクト

質問 JRR日下駅の再生活用では、村の玄関口として関係機関の協力が得られるよう努力を。

答弁 前田建設課長 関係部署によるプロ

プロジェクトの協議を進め、国土交通省・高知県からもオブザーバー参加を検討している。その中で、可能な限り国道歩道計画や県道改良に反映されるよう取り組んでいく。

地域活動の広がり

質問 コミュニティの育成のための取り組みについて。

答弁 松岡総務課長 社会福祉協議会では、地域活動の中心的メンバーのあり方について検討が行われている。コミュニティ育成には欠かせない活動であり、関係各課・各機関と連携し、活動支援を行うとともにリーダー育成についても共に取り組んでいく。

答弁 山崎企画課長 地域おこし協力隊については、現隊員17人のうち11人、OB・OG5人のうち4人が自治会に加入している。加入の判断は本人の意思ではあるが、自治会の行事等には積極的な参加を促している。

健康アプリについて



池田 雄議員

健康アプリについて

質問 健康事業の一環として、健康アプリの新規開発が検討されている。現在の状況は。

答弁 山崎企画課長

村では独自の新たな健康アプリの開発へ着手している。アプリ機能に関する意見・要望を確認し、9月中旬に中間報告をまとめる。

新型コロナウイルス

質問 4回目のワクチン接種について。

新庁舎駐車場

質問 新庁舎の駐車場工事の進捗状況について。

答弁 松岡総務課長

貯水槽・防火水槽、共に順調に進捗をしている。今後、何事もなければ予定通り完成する。

インフラツーリズム

質問 新規放水路のインフラツーリズムについて、その概要は。

答弁 前田建設課長

本坑との合流部には、スイングゲートという逆流防止の扉がある。まさに「巨大な水のトンネルは未来への扉」ができ、周辺を日高村水害に強い

答弁 吉岡教育長

小学校は国語・算数・理科は県平均より少し上、中学校では国語・数学・理科は県平均より少し下となっている。

学校現場の声

質問 学校現場の声を聴いているか。今後の具体的な行動について。

答弁 吉岡教育長

皆の意見を率直に聞いていきたいと考える。

高知西バイパス及び能津トンネル

質問 高知西バイパス及び能津トンネルについて、近隣の自治体との協議状況は。

答弁 戸梶村長

本年3月に、いの町役場を訪問し、日高村の課題や能津トンネルの必要性を説明し、能津トンネル建設促進期成同盟会に名を連ねて活動することに対しては一定の理解を得たと感じている。

村道の樹木を伐採

質問 村道砥石谷妹背線の覆いかぶさっている樹木の伐採について。

答弁 前田建設課長

地権者に対しての同意書の発送が終わり、9月に取りまとめを行う。作業が終わり次第着手したいと考えている。



樹木が覆いかぶさり見通しが悪い村道砥石谷妹背線

全国学力学習状況調査

質問 全国学力学習状況調査における、県と比較した本村の状況について。

まちづくり公園（仮称）としてインフラツーリズムの拠点施設として整備する計画である。

答弁 藤岡産業環境課長

観光面としては、治水教育や防災教育につながる小学校高学年から高校生までの修学旅行などをメインとした受け入れを想定している。

今後、村の観光資源と結び、新規放水路を中心とした一体的に魅力を深く体験・体感できるコンテンツへと修正していく。

質問 村から各農家へ出した、燃油価格高騰緊急対策支援金の内容を聞く。



藤原利彦議員

燃油価格高騰 緊急対策支援金



高騰する肥料だが、必ず使わないといけない必要な物

答弁 藤岡産業環境課長
農業用に購入した、A重油基準単価83・1円を超える単価で購入し、令和3年10月1日から令和4年3月31日までに納品及び申請日までに支払いが完了しているものを補助する。上限は個人が25万円、法人が50万円となっている。
トマト農家を対象に個人が13件、法人が4件で事業は完了している。

みどり戦略支援

質問 みどりの食糧システム法に基づく新たな制度で、農家の活動を支援する内容として、日高村では、どのようなことが考えられるか。
答弁 藤岡産業環境課長
農業の脱炭素化があげられると思うが、有機肥料への転換等は課題があると思う。

質問 支援内容は。
答弁 藤岡産業環境課長
村全体で考えており、地球温暖化対策実行計

画、区域施策編でも環境にやさしいトマトとしてブランド化できるような支援、例えば、農業機械の動力の一部を再生可能エネルギーで賄うなどの仕組みや機器の導入ができればと考えている。

質問 この制度の開始が10月以降となっているが、どのように取り組むか。
答弁 藤岡産業環境課長
みどりの食糧システム戦略の内容や、国が行っている支援についての情報提供、地球温暖化対策実行計画策定後には、その内容に添って、どのような支援ができるのか、考えていきたい。

主権者教育

質問 改正公職選挙法が成立し18歳選挙権が導入された。現在、中学校での主権者教育は、どのような形で行っているか。
答弁 吉岡教育長

文科省によると、単に政治の仕組みについて学ぶだけではなく、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の1人として主体的に担うことができ力を身に付けさせることとなっている。
中学校では、社会科での公民の時間で主権者教育を行っている。



2キロリットル入るタンクが最寒気には1週間でなくなる。金額にすると2タンクで40万円

IP告知端末と 議会ライブ中継



横山泰昌議員

議会中継について

質問 議会のライブ中継について、議会改革特別委員会でも検討しているが、執行部としてはどのような考えか。

答弁 松岡総務課長
議会の考え方を尊重し、対応をしていきたい。

質問 インターネットやIP告知端末による議会ライブ中継を実現し、小学生・高校生が日高村に関心を持ち、また村の未来に関心の持てる魅力のある村議会を目指し発信をしていきたい。

答弁 戸梶村長
村の政治に関心を持

質問 8月4日のIP告知端末の説明を受けて、村として有利な国庫支援策を活用し、進めてはどうか。

答弁 松岡総務課長
デジタル田園都市国家構想推進交付金等活用しての事業について、来年度の予算措置に向け検討していきたい。



第3回定例会において議案を審議する村議会議員

ち、村づくりに参加いただける方が多くいること
によって、日高村の活性化につながっていく。

日高村議会は、昼間の時間帯であるので、傍聴者は限られている。
ライブ配信、また録画配信することにより、ひとりでも多く日高村議会、村政に関心を持ち、多くの方に村づくりに参加していただければ幸いと思う。

質問 ライブ中継が実現すると、学校の教育にも取り入れてもらいたいと思うが。

答弁 吉岡教育長
議会と生徒会が理解し合えるよう、前向きに検討していきたい。

新型コロナウイルス 対応

質問 日高村にはコロナウイルス対応の病院がない。病院や救急車のたらい回しにならないか。

答弁 谷脇総務課参事
今の時期、熱中症か、新型コロナウイルスか、判断がつかないため、受け入れてくれる病院を見つけるのが困難である。
病院に行くか、救急車を呼ぶか、迷った場合には救急医療電話#7119、または15歳未満の場合は救急ダイヤル#8000に電話をしてください。

急な「病気」や「ケガ」で、
救急車を呼ぶか 病院に行くか 迷った時に!

高知家の
救急医療電話

- 看護師や医師による救急医療電話相談
- 応急手当の方法のアドバイス
- 相談内容により、119番や高知県救急医療情報センター等へ転送

365日 24時間 無料通話

7119

ダイヤル登録・IP電話からは 088-823-9922 (有料通話)

15歳未満のお子さまの夜間相談

こども救急ダイヤル

365日 20時~翌日 有料通話

8000

ダイヤル登録・IP電話からは 088-873-3090 (有料通話)

緊急時は、迷わず119番へ

高知県・県内市町村

高知県救急医療情報センター 相談電話 088-825-1299 24時対応

高知県庁舎 090-823-9118
高知県庁舎 090-823-9119
高知県庁舎 090-823-9120

救急車を呼ぶか、病院に行くか、
迷った時に

高齢者の 経済的負担の軽減策を



西村玲子議員

質問 带状疱疹はウイルス
に対する免疫が低下し、
症状を発する。
有効なのがワクチン接
種で、1回2万円程度で
2回の接種が必要であ
る。全額自費となり、助



備蓄品は保管方法や保管場所の検討を

成金を出している地域、補助制度の導入している自治体も増えている。日高村での導入は。
答弁 松本健康福祉課長
国の予防接種ワクチン分科会にて、平成30年6月にも議論されている。今後、国の審議会の動きに沿っていくべきだと考えており、動向を注視していく。

備蓄で住民の安心を

質問 高齢者の方が一緒に逃げるのは 近くの避難所である。1番大事な水の備蓄はされているのか、住民が不安に思っている声がある。

答弁 谷脇総務課参事
県の備蓄方針の基本的な考え方は、最低でも3日の個人備蓄を原則とし、家屋の倒壊など、やむを得ない事情の時は、公的・流通備蓄により、供給体制を整備する。各自自治会の集会所には備蓄をしてなく、備蓄をする時には、方法や置き場所など各自自治会で検討をいただきたい。

安心安全の道路を

質問 村道宮谷鹿児線の往來が増えてくると、安全面を懸念される声がある。



カーブが多く見通しが悪い村道
宮谷鹿児線

障がい者の安心を

峠から鹿児の道は、急カーブがいくつもある。またサイクリングコースになっており、村外の方の通行は特に心配である。事故がないようにカーブミラー、標識など安全対策を希望するが。

答弁 前田建設課長

急な坂道、急カーブは、この道路自体が鹿児側からの県の事業として農免道路の位置づけで整備された農道である。改良自体は今年度完了し、全線開通になる。現地の状況踏まえ、見通しの悪い箇所の改良、カーブミラー設置、路面の表示で減速を促す安全対策を考えている。

質問 支援を必要としていることが外見からはわからないため、周囲の人に知らせ、支援をしやすい意思表示の形として、ヘルプマークが導入された。県では災害、日常生活の中で困ったときの緊急連絡先を記載したヘルプカードも作成されている。

日高村はヘルプマーク・ヘルプカードの実施はどうか。

答弁 松本健康福祉課長

ヘルプマークは、平成30年以降、日高村でも申請された方に配布を実施している。ヘルプカードと併せて、県と連携しながら配布を推進していく。

村の駅 「漬物製造販売」の継続を！



山中鶴幸議員

質問 食品衛生法が改正され、営業許可の届け出が必要となり漬物製造品を出品されている方は、困惑している。

また「村の駅」も、販売ができなくなると懸念しているのではないかと。漬物製造業を継続するため、営業許可に向けた支援を。

答弁 藤岡産業環境課長 今回の改正では、漬物だけではなく他にも営業許可が必要な出荷者や製造者もいる。また改正前の食品衛生法に基づく営業許可取得にも、特段の支援を行ってない。

公平性の観点からも、村が補助金等の支援を行うのは困難と考えているが、今後、村の駅と協議し支援方法を検討したい。

質問 飲食店等は、許可を得る条件を満たしていると思う。以前は支援をしていない。

いので、今回もしないではなく、やはり現状・現況に沿った考え方で、支援体制をとるべきではないか。村の駅と協議を行い、支援体制をとりたいたいということか。

答弁 藤岡産業環境課長 村の支援は困難とは考えるが、どのような支援ができるか、村の駅と協議をし、決めさせていただきたい。

質問 村の支援は無理という答弁に思うが、生産者は、漬物販売の少ない収入と少ない年金を生業と

し、頑張っている。食品衛生法施行規則に規定する漬物製造業の施設基準の3点を、村の支援なしに基準をクリアし許可を受けられると思うか。

答弁 藤岡産業環境課長 改装を行うと、莫大なお金がかかるが、飲食業へも営業許可に支援をしたことがないので、公平性の観点からも難しい。

配食サービスの充実を！

質問 村内では、高齢の夫婦や独居老人、障がいのある独居の方が多く生活をしている。

この方々が、生活を維持するために第一に必要なものが、安全・安心な食生活だと考える。そこで、配食サービスの拡充を図り、高齢者や障がい者の不安を取り除く取り組みの推進を。

答弁 松本健康福祉課長 現在、村内でお弁当の配達を実施している事業所は、対応エリアや配達日等違いがあり、地域や対象が限定されている状

態だ。高齢化が進む現状において安心して地域で生活していくには、食の確保は重要な課題と認識している。配食ニーズの把握に努め、今後の課題として高齢者の見守りを兼ねた配食サービス事業等、行政としてできることを考えていく必要がある。

質問 現在配食サービスを受けている人数は。

答弁 松本健康福祉課長 日高わのわ会利用者16人、秋桜会5人で、ワタミは、現段階では確認が取れていない状況である。

質問 能津地域は配食サービスを受けられないのか。各業者の配食指定地域や配食をしない地域はあるのか。

答弁 松本健康福祉課長 各業者ができる範囲の地域へ配食というのが実情となっている。それぞれの事業者ごとに設定されているのが、実情だ。



漬物製造品を販売する村の駅ひだか

新型コロナウイルスの感染状況は



森下雅文議員

質問 村内での感染状況はどうか。軽症・中等症の症例は。クラスター発生の事例はあるか。

答弁 松本健康福祉課長
令和2年12月17日から

本年8月末までの累計は384人。入院または入院の検討をされた方13人。クラスター発生についての報告はない。

ワクチン接種の見通しは

質問 ワクチンの接種控えが懸念されているが、高齢者等への早めの追加接種を、呼びかけてはどうか。

答弁 松本健康福祉課長
ワクチンの効果や呼びかけは、マスコミ報道等でも十分に周知されている。接種については、努力義務であり、本人に判断していただいている。

質問 接種の努力義務の対象外であった5歳から11歳が、新たに適用されることになった。小児科学会の見解も「意義がある」から「推奨する」に強めた。有効性などを、子どもや保護者へ丁寧に説明・周知する機会を設けてはどうか。

答弁 松本健康福祉課長
希望調査を実施し、効果についてチラシで広報を行った。ワクチン接種は努力義務で、本人に判断していただいている。

宅地開発の推進を

質問 村内で利便性の高い箇所を宅地開発すれば、村への転入を期待できるが、宅地開発についての考えは。

答弁 戸梶村長
一定の人口規模を確保するために、宅地開発は必要だが、村の事業としては、今の職員体制では

厳しい。民間の力を生かしての開発が望ましいと思う。

空き家対策の事業増を

質問 空き家対策事業によって、移住受け入れが増えている。年間の事業数を増やせないか。

答弁 山崎企画課長
年間3戸もしくは4戸を取り組みたい。別に、所有者が補助金を得て改修を行い、移住者に賃貸する手法もあり、そちらも促していきたい。

村独自に出産一時金の上乗せを

質問 政府は、来年度から出産一時金を増額することだが、額が少ない場合、村独自の上乗せを検討してはどうか。

答弁 松岡総務課長
一時金が改定された時点で、必要性があれば検討したい。

職員の村内居住促進を

質問 村職員の村内外居住の状況はどうか。村外居住の主たる理由は何か。村内居住の支援策を検討してはどうか。

答弁 松岡総務課長
職員・再任用者も含め73人中、村外に住所が有する者は35人。理由について、個別の調査は行っていない。



民間業者によって開発された宅地に並ぶ新築住宅 (九頭)

答弁 戸梶村長
村内に住みたくても、民間の賃貸住宅が少ないのが、最大の原因と思う。村へ賃貸住宅を建てていただく取り組みを今後行っていきたい。

露呈した

新庁舎の欠陥



森下芳文議員

質問 議場の結露と、雨音の激しさ、対策を考えているか。

答弁 戸梶村長 想定外であった。対策は課長から説明する。

答弁 松岡総務課長

雨音については、初めて経験したので設計士と相談ができていない。結露については、議会終了後対策をする。

コロナの罹患状況

質問 コロナの患者数が、

8月末現在384人、9月に入っている数字を加えれ



天井から落ちる結露対策する議場の机

答弁 松本健康福祉課長 ば、村の人口の1割に達していないか。9月1日から7日まで63人、合計すると447人となる。引き続き感染者数について注視していく。

マイナンバーカード申請数と発行数の違い

質問 申請数2千285、交付数1千974、この差の原因は。

答弁 今井住民課長 申請数と交付数の差は311件、その内訳は、役場にカードが届いていない件数226件、残り85件はまだ取りに来てない件数。

日高村浸水予想区域及び災害危険区域指定予定の地域権者説明会参加状況をどう把握

質問 会議への参加49人、事前問い合わせ24人、合計73人、全対象者662人の1割強、どのようにとらえているか。

答弁 前田建設課長 参加率は低いと思う。今回の指定の大部分は、ほ場整備の農地であり、農地規制の中で開発自体が非常に困難。そのことで、説明会参加を見送ったと思う。引き続き周知を図る。

中小河川、水路の管理はどこか

質問 中小河川及び水路の管理はどこがするのか、確認する。

答弁 前田建設課長 日高村が管理する河川は62河川ある。水路については、国有財産特別措置法第5条第1項第5号の規定に基づき、譲与さ

れている施設を村が管理している。

質問 年1回の一斉清掃日に各自治会に属する河川、水路は掃除をしてきたと思うが、近年高齢化に伴い、その範囲が縮小し、できなくなった河川水路が増えていていると思う。この対策は。

答弁 前田建設課長 基本的には、受益者など利用者には、受益者など利用者に管理をお願いする。指摘のような事例も増えてくると思う。現地を確認して、村において、機能維持のための必要な対策は、予算の範囲内で検討する。

教職員の不祥事

質問 県教委に厳しく申し入れを。
答弁 吉岡教育長 何かの機会に県の方に言いたい。

特集

各種団体に聞きました

アンケート内容

- 1. 団体の現状の課題
- 2. 行政・議会へ望むこと



日高村商工会

内田知行事務局長

日高村商工会

は、中小・小規模事業社の最も身近な

相談窓口として、各種支援策に取り組んでいます。事業承継や少子高齢化で縮小する国内市場から海外への販路開拓、働き方改革・生産性向上への取り組み、消費税軽減税率や最低賃金引上げへの対応といった、経営課題に加え、コロナ禍で急速に進展したDXなどニューノーマルへの支援ニーズの高まりなど、商工会支援業務は、多様化・複雑化しています。

そういった状況の下、日高村におかれましても、厳しい財政環境にあることは十分に理解し、自主財源の確保に努力しているものの、依然として財源的には厳しい事態に直面しています。

商工会の事業費は、日高村の補助金に大きく依存しているとされておりまして、今後とも商工会の実情への理解と財政的支援への配慮を要望いたします。



日高村農業委員会

竹田芳則委員長

農家の高齢化や後継者不在、イノシシによる被害などで、耕作放棄地が増加しつつあり、息子・娘は遠方にお

り、後継者がまったくない状況で、集落機能の低下などで5年後、10年後の集落の維持が危ぶまれている地域が増えています。女性農業委員と女性農地利用最適化推進委員の増加、村の事情に耳を傾け、女性委員さんを増やす話し合いを行いたい。

委員会、耕作放棄地の取り組み活動が承認。



日高村障害者会

西内恵美子会長

日高村障害者会は、平成26年に身体障害者・知的障害者・精神活動するようになりました。

現在、主に月1回、障害者ふれあいカフェを社会福祉センターで開いています。毎月交流することで会員間の親睦が深まり、連帯感が生まれています。

カフェでは、芋作り、将棋、オセロ、折紙、

絵手紙、軽スポーツなど、自分の興味があることを自由に行っています。課題はたくさんあります。平成25年に障害者差別解消法が制定されたのですが、道半ばです。

そして一番の悩みは、会員数です。個人情報保護法により、手帳を持っている人が分からないため、会員数が伸び悩んでいます。ぜひ、行政や議会の方々、気軽にカフェに来て、参加者の声を聞いていただきたいです。

今回、議会だよりへの投稿をお願いしたところ、忙しい中、ご快諾いただき、誠にありがとうございました。

それぞれの団体の課題を知ることができ、これからの議会活動の参考としたと思います。ありがとうございました。

日高村議会一同

議
会
日
誌

- 7/2 地球温暖化対策実行計画策定委員会
大川内
- 8 仁淀川改修期成同盟会高知河川国道事務所 尾崎議長
仁淀川改修期成同盟会四国整備局 尾崎議長
- 12 議会広報発行調査特別委員会
藤原・池田
森下(芳)・西村
尾崎議長
- 14 仁淀川広域市町村圏事務組合議会
森下(芳)
- 21 例月現金出納検査
森下(雅)
- 22 臨時会
議会改革特別委員会
池田・藤原
森下(雅)・横山
西村・尾崎議長
- 8/1・3・5 令和3年度決算監査
森下(雅)
- 10 能津給油所能津マ1ト開店式典
9人出席
- 15 三重県大台町議会議員視察研修
尾崎議長
- 15 日高村戦没者追悼式
9人出席
- 17 仁淀川下流衛生事務組合議会
横山・山中
- 18 高知中央西部焼却処理事務組合議会
藤原・西村
- 18 台風5号殉難者慰霊祭
8人出席
臨時会
- 23 国道33号整備促進期成同盟会四国整備局要望
尾崎議長
- 24 例月現金出納検査
森下(雅)
- 24 町村議会議長研修会・県政に対する意見交換会
尾崎議長
- 25 総務常任委員会
藤原・池田
森下(雅)
森下(芳)
尾崎議長
- 25 高幡町村議会議長会研修会
野村欠席
- 26 国道33号整備促進期成同盟会四国整備局要望
尾崎議長
- 26 振興対策特別委員会
池田・西村
横山・山中
大川内・尾崎議長
- 29 地域に根ざした佐川高等学校を後援する会総会
尾崎議長
- 30 地球温暖化対策実行計画策定委員会
大川内
- 30 定期監査
森下(雅)
- 30 定期監査
森下(雅)
- 30 佐川高校創立100周年記念式典
尾崎議長
- 31 定期監査
森下(雅)
- 9/2・8 日高村議会9月定例会
- 5 全員協議会
- 14 全員協議会
- 16 日高村佐川町学校組合議会
尾崎議長・藤原
- 16 住宅入居者選考委員会
尾崎議長・池田
森下(芳)
- 20 例月現金出納検査
森下(雅)
- 21 議会広報研修会
藤原・池田
西村・尾崎議長



編集後記

日差しも和らいで、食欲・スポーツ・読書の秋、到来です。

新聞に、「自分から積極的に働き掛けよう」とありました。しかし、初対面や苦手な人と話したり聞いたりするようなときは、誰でも勇気が要るものです。

こんなときは、次のような2つのおまじないの言葉を思い出してみてください。「心配からは何も生まれません！」「勇気は言う気！」。そして忘れてはならないのが、最初から自信がある人など存在しないということなのです。

「勇気は自信に先行する」という言葉があります。自分が考えたことと違う反応や結果が出たときこそ、半歩でも踏み出して確認し、質問するチャンスと受け取ると、

ありました。でも、一步の勇気が出てこないときもありますよね。

災害や南海トラフ巨大地震など、もしものときは、助けたり、助け合ったり、まずは、ご近所さんへのあいさつから始めてみませんか。



KOCHI MURA BEAT FESTIVAL2022での出店の様子

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は12月1日(木)午前10時に開会の予定です。

お気軽に傍聴に、お越しください。

議会広報発行調査特別委員会へのご意見・ご提言を、よろしくお願い申し上げます。

発行責任者

議長 尾崎 政廣

「日高村議会だより」は、資源保護のため再生紙を使用しています。